



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン
代表者名 代表取締役 清川 浩志
(コード番号 8107 東証スタンダード)
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔
(電話 078-806-8234)

特別損失の計上及び2023年3月期通期連結業績予想値と 実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期決算において特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。

また、当社が2022年11月9日に公表いたしました2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)の通期連結業績予想値と実績値との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 特別損失の計上

(1) 関係会社株式売却損

2023年1月30日付公表の「(開示事項の変更) 子会社の事業縮小の中止並びに子会社に対する債権放棄及び子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」に記載のとおり、連結子会社中西株式会社に関し、当社が保有する同社の全株式を株式会社キャプテン・ユーに譲渡することを決定し、また、本件株式譲渡を進めるにあたり、当社の中西に対する貸付金の一部及び未収利息について債権放棄することといたしました。

本件株式譲渡に伴い、2023年3月期決算において、当該債権放棄を含む関係会社株式売却損82百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 貸倒引当金

2023年2月22日公表の「債権の取立不能又は取立遅延のおそれに関するお知らせ」に記載のとおり、取引先である株式会社ビーリンクが、2023年2月3日付で破産手続開始決定を受けたことに伴い、当社が同社に対し有する敷金返還請求権(注)の全額について、39百万円の貸倒引当金を計上いたしました。

(注) 当社は株式会社ビーリンクより物流倉庫を賃借しておりましたが、当該賃貸借契約に基づく敷金の返還請求権であります。

2. 2023年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,000	百万円 △300	百万円 △620	百万円 △630	円 銭 △3.48
実績値（B）	3,547	△683	△994	△1,131	△6.23
増減額（B－A）	△452	△383	△374	△501	－
増減率（％）	△11.3	－	－	－	－
（ご参考）前期実績（2022年3月期）	4,237	△564	△609	△892	△6.07

3. 通期連結業績予想値と実績値との差異の理由

売上高は前回予想を4億52百万円下回る35億47百万円となりました。差異の直接的な理由は、前記「1. 特別損失の計上（1）関係会社株式売却損」に記載のとおり、子会社中西株式会社の株式譲渡を決定し、2023年2月1日付で同社が連結の範囲から除外となったことと、当社アパレル事業において2023年夏物の生産に遅れが生じ、2月から3月度の販売が低調に推移したことにあります。

本来、中西株式会社の連結除外によるマイナスを当社アパレル事業の販売強化で挽回すべきところでしたが、前記のとおり2月から3月度の販売が低調に推移したことにより差異をカバーするには至りませんでした。

損益面では、主として売上高の予想値との差異に加え、粗利益率が前回予想時点の見込みを下回ったため、売上総利益が前回予想を下回る結果となったことにより、各利益は前回予想値を下回ることとなりました。

当期において当社アパレル事業の縮小計画の重要課題として、持越し在庫の徹底消化に取り組んでまいりましたが、夏物在庫に比して秋冬物在庫は絶対量が少なく値引き率を抑えながら粗利益率の回復を図りましたが、前回予想時点の見込み値までの回復には至らなかったことが主たる要因であります。

以上のとおり、営業損失は前回予想を3億83百万円、経常損失は前回予想を3億74百万円下回る結果となりました。

加えて、前記「1. 特別損失の計上」に記載のとおり、連結子会社中西株式会社の株式譲渡に伴う関係会社株式売却損82百万円、株式会社ビーリンクに対し有する債権の貸倒引当金39百万円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は前回予想に対し5億1百万円の差異が生じることとなりました。

以 上